

地獄

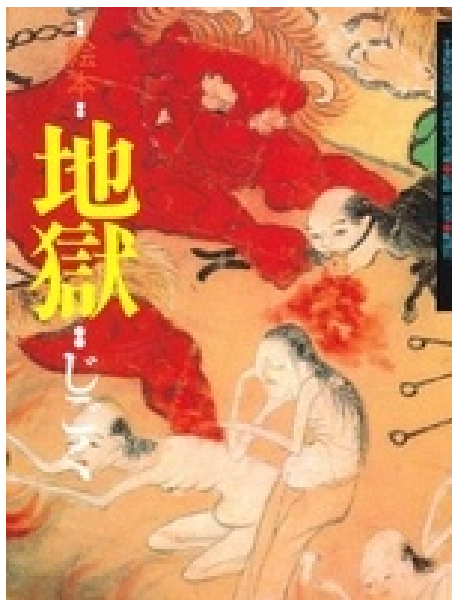
「脅し教育」

2012.7.28a

札幌たのしい授業研究サークル用レポート

仮説実験授業研究会・北海道

丸山秀一



【質問】

あなたは、『地獄』という絵本のことを知っていますか。知っていることを出し合いましょう。

宮次男監修，風濤社
(1980/08)

■『絵本地獄』

この本は、千葉県安房郡三芳村延命寺所蔵の地獄絵を元にして、地獄の様子を子どもたちに知らせる絵本として 30 年以上も前に出版された本です。そして、この本は現在売り上げ 13 万部を超えるベストセラーで、アマゾンや多くの書店の絵本部門で売り上げ第 1 位を記録し続けています。

【質問】

絵本のことを調べる前に、まず、「地獄」について考えてみましょう。「地獄」とは、なんなのでしょう。もし、あなたが小さな子どもに「地獄ってなあに」と聞かれたら、どう答えますか。



深川 閻魔堂

■地獄

「地獄」とは、「地下にある牢獄」という意味の言葉です。仏教では、原典にある梵語の「ナラカ」（「奈落」とも表記される）を漢字で「地獄」と訳したのです。それは、「生前に罪を犯した死者が、行かされて苦しめられるところ」とされています。

仏教の世界観は、輪廻転生です。すべての生き物の魂は、生前の業などにより、次の転生先が決まります（自業自得）。転送先は表のように6つあり、その最悪の転生先が地獄道なのです。

天道	苦しみ少なく享楽の生活
人間道	苦しみとたのしみが半々
修羅道	終始戦い、争うことで、苦しみや怒りが絶えない
畜生道	人間以外の動物。本能のまま生きている。
餓鬼道	飢えと渇きが決して満たされない。
地獄道	罪を償う



そして、仏教の目的は、この輪廻から抜け出すこと（解脱）です。

餓鬼道にいる餓鬼

【問題】

では、その「地獄」という世界観は、仏教伝来以前にも日本人にあったのでしょうか。

予想

- ア あった
- イ なかった
- ウ なんともいえない



修羅道

■死後の世界

日本神話における死後の世界には、地獄はありません。死者が行くとされる場所は、「黄泉の国」とされていましたが、そこは罪人に限らず、死んだもの全員がゆくところでした。神話で、イザナミは死んだ妻イザナミを求めて黄泉の国に赴きました。つまり、生きている者も行けるところでした。そこは、ただ暗い何もない世界で、そこで死者は朽ちていきます。古代の人は、死者が朽ち果ててゆく様子を見て、そのような死の国を連想したのでし

よう。

時代が進むと、死後の世界には、「遠く海の彼方にある」とされた「常世の国」なども加わりますが、そこも天国(=極楽)と地獄のような区別はない世界として考えられていました。



<http://engorosan.blog.so-net.ne.jp/2008-11-27>

【問題】

このように、もともと地獄の概念がなかった日本人も、仏教伝来により、地獄の「存在」を認めるようになりました。

では、仏教には、もともと地獄という概念があったのでしょうか。仏教はインドで生まれましたが、仏教成立以前のインドに天国や地獄の概念はあったのでしょうか。

予想

- ア 両方あった
- イ 天国だけ
- ウ 地獄だけ
- エ 両方無かった



「なます地獄」『絵本地獄』

■輪廻転生

仏教はインドで誕生しました。古代インドの思想（紀元前 1000 年以上前）では、「善人の魂は死後、天国で暮らす」と考えられていました。そして、そのために生前に祭祀や布施、苦行を行うことが求められていました。「悪人の魂」の行き先については、詳しい説明はなく、「ただ無の世界に堕ちる」とされていたようです。この「無の世界」は、古代日本の「黄泉の国」と同じようなもので、決して責め苦を伴う地獄ではありません。

それから 8 百年がたった頃、インドでは「この世のすべての生き物の魂は、生まれ変わりを繰り返す」という輪廻転生の思想が生まれます。そこで、「天国での生活も永続せず死が訪れる」と考えられるようになりました。そして、「善い行いをするかどうかで、次にどんな世界で生まれるかが決まる」と考え、それが「自業自得」「因果応報」の概念となってゆきます。その結果、「悪行の結果

としての転生先」として地獄が創られ、バラモン教、ヒンズー教では、はっきりと地獄があることになっています。そして、それを仏教が取り入れたのです。

仏教の世界観は、輪廻転生です。生前の業などにより、次の転生先が決まります。その最悪の転生先が地獄道なのです。



【問題】

地獄にも種類があって、生前に犯しの罪によって行き先が異なります。

では、地獄の種類は何種類ぐらいあるのでしょうか。

予想

ア ε 種類

イ ε 0 種類

ウ もっと多い



木谷 恭介著，立風書房（1985/08）

■あなたは地獄行きか

教典によって多少の違いはありますが、仏教における地獄は、136 種類以上あることになっています。

一般的には、等活地獄、黒縄（こくじょう）地獄、衆合（しゅうごう）、叫喚地獄、大叫喚地獄、焦熱地獄、大焦熱地獄、無間地獄という「八大地獄」なるものがあり、それぞれの地獄には、さらに 16 種類の地獄が付随しているのです。そして、これ以外に「八寒地獄」などがあるという経典もあります。

生前に犯した罪により、どの地獄に行くかが決定されるわけですが、大変細かいものになっているわけです。八大地獄に付随する小地獄に墜とされるには、さらに細かい条件がついています。

地獄	刑罰
等活	鬼に切り裂かれるほか、罪人同士で殺し合いをする。
黒縄	焼けた縄で身体に墨縄をうち、鋸でその跡にそって切り裂かれる。
衆合	押しつぶされ、臼でひかれる。剣の葉を持つ林の木の上に美人が誘惑して招き、罪人が登ると今度は木の下に美人が現れ、その昇り降りのたびに罪人の体から血が吹き出す。
叫喚	熱湯の大釜や猛火の鉄室に入れられ、号泣、叫喚する。
大叫喚	叫喚地獄で使われる鍋や釜より大きな物が使われ、それまでの地獄の十倍の苦を受け叫喚する。
焦熱	赤く熱した鉄板の上、また鉄串に刺され、また目・鼻・口・手足などに分解されてそれぞれが炎で焼かれる。
大焦熱	前の 6 つの地獄の一切の諸苦に 10 倍して重い苦痛を受ける。また更なる極熱で焼かれて焦げる。

無間	剣樹，刀山，湯などの苦しみを絶え間なく受ける。舌を抜き出されて 100 本の釘を打たれ，毒や火を吐く虫や大蛇に責めさいなまれ，熱鉄の山を上り下りさせられる。これまでの地獄さえ，この無間地獄に比べれば夢のような幸福だとされる。
----	---

無理に八つにした感じがありますね。



『地獄大図鑑』

16 種類の小地獄は，例えば衆合地獄では，次のようになっています。お気を付けください。

名称	落ちる理由と刑罰
大量受苦悩処	正常位以外の性交をした。串刺し。
割割処	口を使ったり騎乗位をした女性。喉に釘。
脈脈断処	女性が誘い男性が応じたら、その両名。融けた銅を飲まされる。
悪見処	他人の子どもに対する性行為。性的虐待される実子を見せられながら、肛門に溶けた銅。
団処	牛や馬を獣姦。炎が性器から体を焼きつくす。
忍苦処	戦争などで手に入れた他人の妻を寝取ったり、それを他人に与えた。逆さづりて火あぶり。
朱誅処	羊やロバを獣姦。鉄の蟻にたかられ、内臓まで喰われる
何何奚処	近親相姦。鉄の鳥の大群に食われる。
涙火出処	尼僧を強姦。涙が炎となって焼く。肛門を裂かれ、溶けた白蠟を入れられる。
一切根滅処	女性の肛門を使った。融けた銅を飲まされ、刀の雨が降る。
無彼岸受苦処	不倫した男。火責め、刀責め、熱灰責めなど。
鉢頭摩処	想像で女犯した僧。煮られ、鉄杵で突かれる。
大鉢頭摩処	僧であると偽りながら女犯。バラバラにされ、鳥についばまれる。
火盆処	僧のふりをしながらも、女性に興味を持った。身体が炎に包まれ燃え盛る。
鉄末火処	僧であると偽りながら、女性に対しみだらな想像。熱鉄の雨が降りそそぐ。

【問題】

これらの地獄は、表の順番の通りに、重なっています。では、一番上の等活地獄は地下どれぐらいの所にあるとされているのでしょうか。

予想

- ア 地下 10 キロまで（地殻の中）
- イ 地下 2900 キロまで（マントルの中）
- ウ 地下 5100 キロまで（外核）
- エ 地下 6400 キロまで（内核）
- オ もっと底



『地獄大図鑑』

■地獄の場所

地獄の最上部は、「地下 1 千由旬にある」とされています。1 由旬は、少なく見積もっても、だいたい 7 キロメートルと考えられていますから、1 千由旬は 7000 キロメートルです。ところで地球中心までは約 6400 キロメートルですから、地獄は地球内部には存在しないことになります。

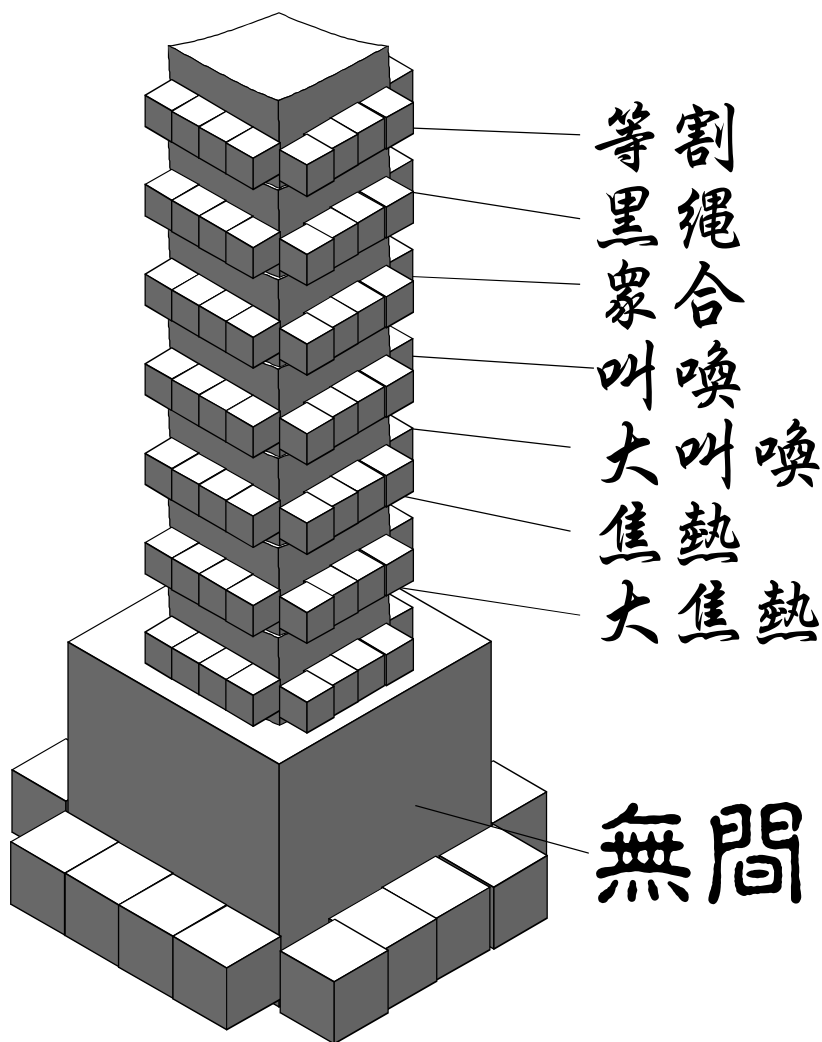
最下層の無間地獄では、地下 4 万由旬ですから、約 21 万キロメートルということになり、月までの距離の半分以上になります。実際には不可能ですが、もし自由落下で無間地獄まで堕ちるとすると、2000 年ほどかかる計算になります。

【問題】

このように、地獄にたくさんの種類があるのは、犯した罪やその程度によって、行き先を分けるためです。では、基本的にどんな罪を犯すと地獄行きとなるのでしょうか。次に挙げるもののなかで、地獄行きの要件にはならないものがあるでしょうか。

予想

- () 殺人, () ケンカ好き, () アリ殺し
- () 蚊殺し, () 反乱者, () 窃盗
- () 淫らな行い, () 飲酒, () 酒の売買,
- () ウソ, () 自殺



地獄の構造図
各層の周囲には16の小地獄がある。
「俱舍論」を元に作成。(c)Maruyama

■殺生

たとえ害虫であれ、生き物を殺して懺悔しない者は等活地獄行きとなります。また、「争いが好きだったもの」や「反乱を起こしたもの」も殺生と同じように考えられており等活地獄行きです。それ以外の地獄は、罪の累積によります。例えば、殺生に加えて盗みを犯した者は、次の黒縄地獄行きとなるのです。

	罪							
等活	殺生	—	—	—	—	—	—	—
黒縄		盗み	—	—	—	—	—	—
衆合			邪淫	—	—	—	—	—
叫喚		飲酒		—	—	—	—	—
大叫喚			ウソ	—	—	—	—	
焦熱				反仏教	—	—	—	
大焦熱					尼僧,子どもへの強姦	—	—	
無間		親・聖者の殺害						

よくわからないのが、「殺生はしていないが盗みをやった」などの場合は、どうするかということです。(黒縄行きになるらしい)しかし、仏教の厳しい掟では、殺生せずに生きるのは不可能でしょう。

また、仏教では「裏切り」「不誠実」のような心情的な罪は、罪とはならないようです。

別紙のチャート(『図説地獄』より)をやって、自分はどこの地獄へ行くことになるのかを調べてみましょう。

【問題】

輪廻転生の考えからすると、地獄で死ねば、また別の世界で生まれ変わるはずです。では、地獄の責め苦もたいした苦痛にはならないはずです。実は、地獄では、どんなに切り刻まれても、復活してしまい、死ぬことは無いのです。もっとも、それでは輪廻転生が成り立ちませんから、地獄にも「寿命」(実質的な刑期)があります。それでは、地獄で何年ぐらい過ごさなければならないとされているのでしょうか。

予想

- ア 1年ぐらい
- イ 10年
- ウ 100年
- エ 1000年
- オ もっと長い

■ 刑期

地獄	刑期（年）
等活	1,6653,0000,0000
黒縄	13,0000,0000,0000
衆合	106,5800,0000,0000
叫喚	852,6400,0000,0000
大叫喚	6821,1200,0000,0000
焦熱	5,4568,9600,0000,0000
大焦熱	もっと長い時間
無間	さらに長い時間

一番短い刑期でも、2 兆年弱ですから、ものすごく長い時間です。人類が誕生して、まだ 200 万年ぐらいですから、現在までに、地獄へ行ったあとに転生したひとは誰もいないことになります。



私たちの太陽の寿命はあと 50 億年ほどで、その時、もしかしたら地球が消滅しているかも知れません。もしそうだったとしたら、地獄から初めて転生するひとは、いったいどこに転生するのでしょうか。

【問題】

では、仏教以外の宗教にも、地獄の概念はあるのでしょうか。
キリスト教とイスラム教についてみていきましょう。

予想

() キリスト教 () イスラム教

ア ある

イ ない

ウ なんともいえない

仏教との違いがあるとしたら、一番大きな違いは何でしょうか。



黒縄地獄

■最後の審判

イスラム、キリスト教、ユダヤ教の共通の聖典である『旧約聖書』では、死者の国は「シェオール」です。そこは、深い闇に覆われた地下深くにあるところですが、地獄とは違います。

しかし、そのうち「死者復活」の思想が出てきて、復活した死者は「永遠の命や、限りなき恥辱を受ける者もある」となってきました。

『新約聖書』では、死者の国は「ハデス」と呼ばれますが、その内容は、シェオールと同じです。しかし「悪しき者が刑罰を受けるところ」が用意されており、それは「ゲヘナ」と呼ばれます。



ユダヤ、キリスト教に特徴的なのは、死んでからの地獄や天国は、一時的な場所では無いと言うことです。やがてくる「最後の審判」（図はミケランジェロによるもの）の時に、まず、生きているものは、すべて死にます。そして、

すべての死者が肉体を持って復活して、神による最後の審判を受け、天国か地獄の行き先が決定するのです。その決定は、決して覆ることはありません。地獄へ行ったものは、本当に永遠に地獄なのです。一神教の神は全能だからです。

イスラム教では、死んだものの魂は、最後の審判をただ待つことになります。そして「終末の日」に肉体が復活し、アッラーの裁きによって、永遠の天国か地獄かが決まるのです。

【問題】

これらの一神教に於いては、異教徒は救いの対象には全くなりません。キリスト教なら、キリスト教成立以前に死んだものは、たとえ偉人であっても、すべてキリスト教徒ではありませんから、天国へは行けないことになります。洗礼を受ける前に死んでしまった乳児などもそうなります。

では、キリスト教では、そういったひとたちへの配慮は無いのでしょうか。

予想

- ア 配慮がある
- イ 配慮は無い
- ウ なんともいえない

■救済措置

中世以降、カトリック教会は、「キリスト教以前の偉人や聖人、洗礼前に死んだ赤子は、辺獄（図）で最後の審判を待つ」としました。そこは、快適な世界だということです。

また、小さな罪を犯したキリスト教徒の為に、煉獄が用意されました。煉獄は地獄に似た世界ですが、罪人の魂は、そこで浄化され、最終的には必ず天国へ行けるという場所なのです。



また、「死者の煉獄における刑期を短縮できる」ということで、聖母マリア信仰がされています。ただ、この煉獄のアイディアが免罪符発行につながった為、プロテスタントは、辺獄も煉獄もその存在を認めていません。

【問題】

では、キリスト教で天国へ行く権利が与えられない「大罪」とされているのは、いったいどんなことでしょうか。

予想

（ ） 神の冒瀆、（ ） 両親への暴力、（ ） 名誉毀損、

() 安息日の労働, () 殺人, () 自殺, () 中絶,
() 婦女暴行, () 不倫, () 婚前交渉, () 同性愛,
() 自慰, () 酩酊



煉獄

■大罪

カトリックでは、神への冒瀆や両親への暴行、深刻な名誉毀損などを意図的に行った場合は、大罪とされます。安息日の肉体労働も大罪であり、自殺や中絶を含めて殺人も大罪です。但し、「正しい戦争」や「正当防衛」のときは、大罪とはなりません。

不倫や婚前交渉、同性愛、近親相姦、自慰もすべて大罪です。過度の酩酊や窃盗、賭博も大罪とされています。

かつて、日本人が米国に移民したとき、休日に働く日本人が大きな非難にさらされましたが、宗教的な問題だったのです。

仏教ほどではないですが、キリスト教に於いても、これらの罪を犯さず天国へ行くことは難しそうです。ただこれらの罪は、懺悔をすることで、贖うことができるものです。

こう考えて行くと、仏教では地獄行きが不可避なのに対して、キリスト教では、よっぽどの悪人で無い限り、地獄行きはなさそうです。なぜなら、地獄が輪廻の1サイクルに過ぎない仏教に対して、キリスト教では、地獄は救いの無い永遠のものだからです。

また、具体的な犯罪だけを問題にする仏教と違い、キリスト教では「心の持ち方」も問題となります。「七つの大罪」と言われているものがそうで、次の欲望や感情を持つことはキリスト教徒には、許されないことです。

日本語	英語
傲慢	pride
嫉妬	envy
憤怒	wrath
怠惰	sloth
強欲	greed

暴食	gluttony
色欲	lust

これらの英語を使うときは、気をつけた方がいいです。例えば、「Wrath of the Titans」という映画がありましたが、これはタイトルをただで、タイタンが悪いに決まっています。そして、「タイタンは地獄行き」ということになるでしょう。

【問題】

仏教の地獄に戻りましょう。日本人の中に地獄の概念をもたらせたのは、仏教です。では、日本に伝来した仏教は、最初から地獄を取り上げて布教したのでしょうか。

予想

- ア 最初から地獄を説いて布教した
- イ 初めは地獄には言及しなかった
- ウ なんともいえない



針地獄

『絵本地獄』

■源信

十七条の憲法で「篤く三宝を敬へ。三宝とは、仏・法・僧なり」と最初に仏教を興隆させた聖徳太子は、地獄について何も語っていません。平安時代に、政治に関与するようになってきた旧仏教勢力に対抗する為に遣唐使として派遣された空海や最澄も、地獄については、ほとんど語っていません。

地獄の概念を決定的にしたのは、源信が985年にまとめた『往生要集』がきっかけでした。源信は、人々に極楽浄土を求めて念仏を唱えさせる為に、そうしなければ墜ちるであろう地獄について、多くの経典からまとめて著したのです。その『往生要集』は、まず地獄の詳しい構造と描写から始まっています。そして、以降、それをもとに様々な地獄絵が描かれるようになりました。絵で見せることで、そのイメージは定着していったのです。

やがて宮中では、地獄絵の屏風を飾って、罪を懺悔する行事が行われるようになります。そのことが『枕草子』にも出て来ます。

御仏名の次の日、天皇は清涼殿より地獄絵の御屏風をお持ちになり、ずっと広げて中宮様にお見せになられました。その絵は私には大変気味が悪くて、堪らないことといたら、この上もありません。

「これをぜひ見よ。ぜひ見よ」

と中宮様がお命じになられますが、まったく拝見いたさず、あまりの気味悪さに私は小部屋に隠れ臥してしまいました。

平安末期には、それまでの鎮護国家の仏教は機能なくなり、「現世では救われない」という末法思想が流行しました。地獄の概念は、それと呼応するように広がりました。

高岳親王は「いふならく 奈落（＝地獄）の底に入ぬれば 刹

利（＝王族）も首陀（＝隸民）もかわらざりけり」と歌を詠み。清和天皇の皇太后は「三途の河の渡りには、平生の財も随はず。平等（＝閻魔王）の前には、君臣の序も弁ふること無し。独り生れて独り死す」と書き残しました。現世での栄華も死後は役に立たず、来世での浄土を願う為には仏教を信じるしか無かったのです。

平安末期は武士の台頭で戦乱に明け暮れ、人々は、そこにまさに地獄絵通りの地獄を見たことでしょう。人々は、地獄を知り、極楽浄土を求めて念仏を唱えました。ここに浄土宗は日本の最大宗教となったのです。

【問題】

地獄の概念は日本人に定着しました。では、その後はどうだったのでしょうか。その後、地獄絵がどうなったのかで見ていきましょう。平安末期から鎌倉時代には、たくさんの地獄絵が描かれていましたが、地獄絵が衰退したのは、いつのことだったのでしょうか。

予想

- ア すぐに衰退した
- イ 江戸時代に衰退した
- ウ 明治時代に衰退した
- エ そのほか

■衰退

室町、戦国時代となるにつれて、さらにたくさんの地獄絵が描かれたようにも思えますが、そうではありませんでした。地獄絵は、室町時代には衰退してしまったのです。

浄土宗の根本聖典は「大無量寿経」で、そこには「念仏する一切のものは救われるが、五逆と正法を誹謗したものは阿弥陀仏でも救えない」と書かれています。五逆とは「父母殺し、修行者殺し、釈尊を傷つけたもの、教団の分離工作をするもの」のことです。

それを、法然は「念仏をする一切のものは救われる」と宣言したのです。さらに、法然の弟子の親鸞は「悪人こそ救われる」として「悪人正機」を掲げて、多くの信徒を集めました。しかし、これでは、地獄の効用は薄まることでしょう。

江戸時代になると、寺請制度により、仏教は布教する必要がなくなり低俗化していったのです。1702年の『浮世草子』では、地獄の藪入りに色町に出かけて酒を飲み、花見をたのしむ鬼達の様子が描かれています。当時の人々には、もはや地獄は恐ろしいところでは無くなっていたのです。

江戸時代には、『地獄八景亡者戯』という、地獄を旅するたのしい落語が作られて人気でした。この落語は、現在でも上演され続け、『じごくのそうべい』という絵本にもなっています。また、地獄での冒険の様子は「まんが日本昔話」でアニメにもなりました。

明治3年に描かれた「地獄極楽めぐり図」では、子ども達は賽の河原でたのしそうに遊び、阿弥陀如来や閻魔大王は宴会をしていたのしんでいます。



「地獄極楽めぐり図」大宴会

【問題】

日本人の地獄のイメージを決定づけたのは、源信の『往生要集』ですが、現在の我々が抱く地獄のイメージには、『往生要集』には、全く記載のないものも少なくありません。では、それらは为什么呢。

予想

- () 三途の川, () 賽の河原, () 6文の渡し賃,
- () 閻魔大王, () 地獄の鬼, () 死出の山,
- () 血の池地獄

■賽の河原

私たちにはなじみ深い、三途の川、賽の河原、奪衣婆、六文の渡し賃、閻魔大王、死出の山、血の池地獄などの記述は、『往生要集』には一切ありません。

一般的に地獄へのルートは次の表のようなものです。

この表に書いていることは、どれも『往生要集』には出て来ません。実は、「死んでから 49 日間、閻魔などの裁きを受ける」というのは、唐の時代に成立した『十王経』によるものです。

三途の川は、日本古来からの発想で、「この世」と「あの世」が水平的につながっていた頃の名残でしょう。但し、『十王経』にも、川があることになっています。川幅は 300 キロメートルもあり、罪に応じて「橋」「浅瀬」「毒蛇のいる深瀬」を渡らねばなりません。

鎌倉時代以降、三途の川に渡し船が登場し、六文を払えば、乗せてもらえるということになりました。そこで、葬儀の際には棺桶に六文銭入れる習慣が定着しました。六文は現在の価値では、200 円ほどです。真田家の家紋に六文銭が使われているのは「戦でいつ死んでもいい」ということを表しています。

賽の河原は、仏教とは本来全く関係が無い、中世以降にできた日本の民俗信仰です。しかし、そこには「子どもを地獄へは行かせたくない」という気持ちが感じ取れます。子ども達は、死んで

も地獄へは行くことはなく、賽の河原で地藏菩薩による救済を待つのです。その期間は、地獄での刑期と比べると格段に短く、9000 年とされています。

←真田家家紋



1	死亡	直接地獄へ墜ちたり、閻魔の使いの火の車が迎えに来ることもある。
2		
3		
4	死出の山	暗く陰しい山道を400キロメートルほど、鬼に追い立てられながら歩く
5		
6		
7	初七日忌	泰広王が善行悪行を裁く
8		
9		
10	賽の河原	子どもは三途の川を渡れない。奪衣婆が衣服をはぎ取り、懸衣翁がそれを木に掛ける。罪が重いほど枝がしなる。六文払うと、渡し船に乗れる。
11	三途の川	
12		
13		
14	二七日忌	初江王が三途の川での様子を見て裁く
15		
16	猫の集	
17	団、大蛇	邪淫の罪を犯した男は猫に性器をかじられ、女は大蛇が性器に入ってくる。
18	の地	
19		
20		
21	三七日忌	宋帝王が邪淫について裁く。邪淫の罪を犯したものは性的虐待を受ける。
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28	四七日忌	五官王が五感が原因の罪を裁く。罪をはかる秤がある。
29		
30		
31		
32		
33		
34		
35	五七日忌	閻魔王が最終審判をし引導を渡す。罪状を映し出す鏡がある。
36		
37		
38	鉄丸所	大石が死者を苦しめる
39		
40		
41		
42	六七日忌	変成王が再尋問し、罪人は融けた銅をかけられる。
43		
44		
45	暗鉄所	真っ暗で槍が突き出る道
46		
47		
48		
49	四十九日	泰山王がこれまでの審判の結果で行き先を示す。



三途の川の前後にいる奪衣婆（写真は、埼玉県川口市・西福寺地蔵堂のもの）は、渡し船が登場してから、「六文を持っていないものの衣服をはぎ取る」とも言われています。奪衣婆は、江戸時代末期には、「疫病除けや、子どもの咳止めに効き目がある」とされ、民間信仰の対象としてあちこちで

祭られました。

血の池地獄は、900年代の中国で成立した『血盆経』が室町時代に渡来して広まった思想です。それは「女性は血で大地を汚すので、全員が血の池地獄に墜ちるが、『血盆経』を信じれば救われ



る」ということで女性に大流行したのです。

また、当時の女性差別を反映した地獄はほかにもあります。「浮気相手を妬んだ女性」が墜ちる「両婦地獄」。「子どもを産めなかった女性」が墜ちる「不産女地獄」などです。

【問題】

閻魔について考えていきましょう。実は、閻魔は仏教成立以前の古代インドから考えられていたのです。では、いったい閻魔とは、どういうものだとされていたのでしょうか。

予想

- ア 最高の神
- イ 悪魔
- ウ 人間
- エ そのほか

衆合地獄



■閻魔



古代インドの人たちは、善人であった死者の国を喜びに満ちたところと考えていました。そして、その国を統治するのが Yama=ヤマでした。やがて地獄の概念が作られていったとき、ヤマは恐れられるようになり、中国で「閻魔」とされたのでした。しかし、もともとのヤマは、今も仏教の夜摩天（写真）として残っています。

実は、インドではヤマは「最初の人間」です。ヤマは妹と結婚し、人間を増やしていきます。ヤマが死んだとき、人間として最初の死者であったために、死者の国の王となりました。

ヤマは中国では、地獄の王=閻魔とされ、道教の影響を受けて「地獄の十人の裁判官の一人」とされました。それを元にできたのが『十王経』です。地獄の裁判制度が官僚的なのは、中国の影響なのです。

閻魔王には休日もあります。江戸時代の「藪入り」というのは、「奉公人が仕事を休んで実家に帰れる日」のことですが、これも閻魔王の休日に合わせて1月16日と7月16日とされていました。また、地獄全体の定休日は7月1日であり、この日は地獄の釜の蓋が開く日で死者も痛めつけられることは無いとされ、この日より盆入りとされました。

また、閻魔は地蔵信仰と結びつき、地蔵菩薩の化身であるとされています。

地蔵菩薩は、釈迦の入滅後、56億7000万年後に弥勒が出現するまでの間、六道を輪廻する衆生を救う菩薩であるとされています。地蔵は「すべての人が救われるまでは、私は菩薩界へは戻らない」と宣言して、六道を回っており、その「弱者を最優先で救済する」という設定で、古来より絶大な信仰を民衆より集めていました。地獄思想が定着した平安時代以降、人々は地蔵菩薩=お地蔵様に地獄からの救済を願ったのです。実際、多くの説話で、「お地蔵様が地獄から救い出してくれた」「罪の軽減を申し出てくれた」と語られています。『絵本地獄』でも、主人公は地蔵に助けられます。

閻魔の好物はこんにゃくだそうです。「嘘をつく」と、地獄で閻魔に舌を引き抜かれる」といいますが、これは経典には記載の無いことです。

【問題】

『十王経』では十人の裁判官がいるはずですが、これまで閻魔王を含めて七人しか出て来ていません。では、ほかの三人の裁判官は、いつ、なにを裁くのでしょうか。

予想

- ア 特に役割は無い
- イ 再審を担当する
- ウ 特別な案件を担当する
- エ そのほか

■裁きは続く

『十王経』では、七度の裁きでも死者がその罪を納得しないときなどには、さらに三度の裁きを受けることになっています。

100 日目	百か日	平等王による裁き
2 年目	一周忌	都市王による裁き
3 年目	三回忌	五道転輪王による裁き

しかし、これらの三つの裁きは、実質的には再審であり、そのほとんどが救済措置であることが多いようです。

このように、『十王経』では、道教の影響で、閻魔王が裁判長だというのに、閻魔王の後に 5 人の裁判官がいるなど、閻魔の地位が低められていますが、ふつうの日本人は、閻魔王の裁きしか知らないことでしょう。



叫喚地獄

【問題】

十王の裁きの日と、死者への法要の日は、完全に一致していますが、これはどういったわけでしょうか。遺族が死者の法要をすると、何か良いことがあるのでしょうか。

予想

- ア 死者が死後の運命を受け入れることができるようになる
- イ 死者に有利な判決が出るようになる
- ウ 死者の苦痛を和らげることができる
- エ 特別に死者には効果が無い
- オ そのほか



大叫喚地獄

■法要の必要性

法要の日取りと十王による裁きの日取りが一致しているのは、偶然ではありません。十王は、遺族がちゃんと法要を行い供養しているときは、死者の罪を減じたり、地獄道への転生を免除したり、生き返らせたりするのです。

法要は追善供養といいますが、まさに死者の「善行を追加」しているのです。だから、遺族は、死者が地獄で苦しまないように、ちゃんと法要を行わなければならないというわけです。うまいことを考えたものです。

「地獄の沙汰も法要次第」というわけです。



焦熱地獄

【問題】

法然は「念仏をする一切のものは救われる」と宣言し、浄土宗となりました。さらに、法然の弟子の親鸞は「悪人こそ救われる」として「悪人正機」を掲げて、後に浄土真宗となりました。

では、浄土宗や浄土真宗では、死者が地獄に行く心配は、まずないので、法要も必要ないことになりますが、それらの宗派は、法要を否定しているのでしょうか。

予想 浄土宗 (), 浄土真宗 ()

- ア 必要ないとされている
- イ 必要とされ行われている
- ウ 遺族の為に行われている
- エ そのほか



大焦熱地獄



■追善供養

浄土宗のサイトでは、はっきりと、「追善供養は必要では無いが、日本の良き伝統を重んじ遺族の為に、追善供養を行う」となっています。

浄土宗の念仏の教えでは、亡くなれば、すぐ浄土に往生し仏のみもとにいける、といわれていますが、仏教の民間信仰では、日本の仏教には中国から伝わった、死者を弔い祖先を大切にするという日本の良き伝統習慣が色濃く残っています。

死者は七日ごとにあの世で裁きを受け、この旅の最後に来世の生まれ変わり先が決まると考えられています。インドにおいては、四十九日の期間を過ぎると、輪廻転生して、生まれ変わると考えていました。七日ごとの裁判の日に法要を行うのは、故人の罪を消して裁判で良い結果を得るためだと考えられています。

よく初七日とか、三十五日、四十九日といいますが、この期間は残された遺族が亡き人への想いを深め故人よ幸福にと願い、また、惜別の寂しさを少しずつ和らげていくための大切な期間で、七日ごとに法要することになっています。

ですから浄土宗でも日本の良い伝統として、

- 一、亡き人の供養のために
- 一、親族のために
- 一、自らの信仰を深めるために
- 一、良き伝統のために追善供養を行っています。

残された遺族が亡き人への想いを深め故人の幸福を願い、悔別の寂しさを少しずつ和らげていくための大切な期間として七日ごとに法要を行うことになっています。

それは浄土真宗でも同じです。死者は、速やかに浄土で仏となるので、香典袋には「御仏前」と書きます。法要は、故人の冥福を祈るのではなく、故人を縁に、生死の意味をより深く考え仏法にふれるためのものなのです。だから、「友引」に葬式を営んでも問題ないですし、「六文銭の副葬」や「清め塩」もありません。

当然、「死者の祟り」という概念もありません。故人が霊魂として現世でさまよう様なことはないからです。

親鸞は「家族の為に念仏したことなど一度も無い」と語っていました。

つまり、浄土宗や浄土真宗では、法要は死者では無く、生きている人たちの為に行われるのです。

【問題】

『絵本地獄』について見ていきましょう。この絵本に登場する地獄は「なます地獄」「かまゆで地獄」「火あぶり地獄」「針地獄」「火の車地獄」「竜の口地獄」「無間地獄（絵はない）」の七つで、八大地獄とは違ってしています。では、この絵本が元にした地獄絵は、いつの時代に描かれたものでしょうか。

予想

- ア もっともたくさん地獄絵が描かれた平安末期から鎌倉時代
- イ 民衆の地獄の受け取り方が変わってきた室町時代
- ウ 仏教が低俗化した江戸時代
- エ 明治以降

■「地獄極楽絵図」

この地獄絵は、天明 4 年(1784)に江戸の画士・江府宗庵（絵本では「作者不詳」となっている）が製作した「地獄極楽絵図」です。江戸時代には、地獄絵は恐ろしいものでは無くなっていたはずですが、この 1784 年製作の地獄絵には、恐ろしいものがあります。それは、この寺が曹洞宗の寺だということにも関係しているのでしょうか。でも、恐らく当時の社会状況の影響を受けていると思われます。当時は、天明の大飢饉の最中で、岩木山や浅間山の噴火も重なり、多くの人々が亡くなっていました。地獄は、現世にあったわけです。

「地獄極楽絵図」の地獄は、伝統的な八大地獄では無いことも、すでに伝統的な地獄の概念が失われてきていたことを暗示してい



無間地獄

ます。この地獄絵では、八大地獄の名称では無く、「かまゆで」「火あぶり」など具体的な刑罰の名称を地獄の名前としています。実際、現在の我々には、そういった名前の地獄の方がなじみの深いものになっています。

【問題】

この絵本は、出版社である風濤社の社長が企画したものです。では、どんな意図を持って、こんな絵本を出したのでしょうか。絵本には何と書いてあると思いますか。

予想

- ア 子ども達に「死の怖さ」を伝える為
- イ 子ども達に悪事をさせない為
- ウ 子ども達に信仰心を教える為
- エ そのほか



暴君ハバネロの支配する地獄から現世を目指すゲーム

■死の恐怖

当時の社長は、この絵本の出版の経緯を絵本の中で次のように語っています。

私たちは、これを見る子供らが、「死ぬことは怖いことだ」ということを深く心に刻むであろうと、それを主題に絵本作りを思い立ちました。

ひとの死に対する恐れは本能といわれるものですが、それはまた、学習によって強められることを、日常の経験を通して私たちは知っています。昔の人が医学の未発達の際、地獄絵を子どもらに見せ、死の恐れを語り、行動の自制を求め、生への執着を強めて子孫の持続を計ろうとした、と考えると、この絵図はその時代の人が生んだ大いなる叡知の一つと言えます。

今の子供らは、家族の単位が変化し、医療のあり方が変わって祖父母や兄弟といった肉親の死に直面する機会が滅多に無くなりました。昨日役柄の中で死んだ俳優が別の役割で今日出るといったテレビから、死ぬということ子供らはどうとらえることができるでしょう。さらに「科学的にモノを見よ」という教育は、「死の怖さ」についてほとんど語ることはできません。

文明は危険な環境を日々ふくらませていきます。それにひきかえ「死の怖さ」を学習するチャンスは、ますます遠のくばかりです。

・・・

死を恐れることが無い子供らが育って行くとしたら、こんなに怖いことはありません。

しかし、これまで見てきたように地獄絵は「死の恐怖」を教える為に描かれたものではありません。それは、因果応報を教え、極楽浄土の来世を願わせる為のものです。また社長は、「死への恐怖は本能」と言っていますが、ほとんど本能だけで生きている動物に「死への恐怖」はありません。

この絵本には、ラストに大きな文字で「子ども達よ、命を粗末にするなよ!」と書かれています。社長は、当時、社会問題化していた子どもの自殺を憂慮し、子どもの自殺を阻止したかったのではないのでしょうか。



現在の社長は、次のように語っています。

「発行当時は子どものいじめや自殺が社会問題になり始めたころです。地獄の言い伝えを子どもに見せて『人をいじめたり命を粗末にしたりすると、大変なめにあうぞ』という構成を考えました」

どうやら、「いじめ抑止」も目的だったようです。

死ぬことは怖いことなののでしょうか。死の恐怖を感じない人間は、命を粗末にするのでしょうか。死なない人間はいません。

たしかに生物は生存の危機に出逢うと、子孫を残そうとするものなのかも知れません。しかし、人間もそうだとは言えません。日本人は、明治になって、明るい未来が予想できる時代になって、突然人口が増え出したからです。

人間は死を理解します。しかし、死を恐れることで、神や宗教を作り出してきました。その結果人間は、より殺し合い、憎み合うようになったのではないのでしょうか。

地獄絵で人々を脅かすことの実験結果も、歴史的には、すでに



等活地獄

明白だと思うのですが、どうでしょうか。

【問題】

では、30年ほど前、この絵本が出版された当時、この絵本は今のようになくさん売れたのでしょうか。

予想

- ア 最初からよく売れた
- イ あまり売れなかった
- ウ なんともいえない



衆合地獄

■絵本らしくない

この絵本は、発売後数年は「まず、書店に置いてもらえるかどうかが鍵」だったといえます。なぜなら、可愛らしい絵本が並ぶ児童書のコーナーで表紙と内容があまりにもおどろおどろしく異質な絵本だったからです。そこで最初の発行部数は 5000 部でした。

それが、書店員の口コミなどで徐々に広まり、年間 3000 冊が売れる絵本となりました。そして 30 年間で約 10 万部を出しました。

それが 2011 年末になって、突然、売り上げが急上昇するようになりました。そのきっかけは、この絵本が育児をする母親向けの漫画『ママはテンパリスト』（東村アキコ著、集英社、2011）に取り上げられたのがきっかけでした。



それからというもの、1 年もたたないうちにこの絵本は、あっという間に売り切れ続出となり、出版社は 8 万部を増刷したのでした。

【問題】

現在、この『絵本地獄』には、『ママはテンパリスト』の著者による推薦の言葉が書かれた帯が着いています。では、そこにはなんと書かれているのでしょうか。

予想

ア 「どうか、生きていて!」

イ 「わかった?! 死んだら怖いのよ!」

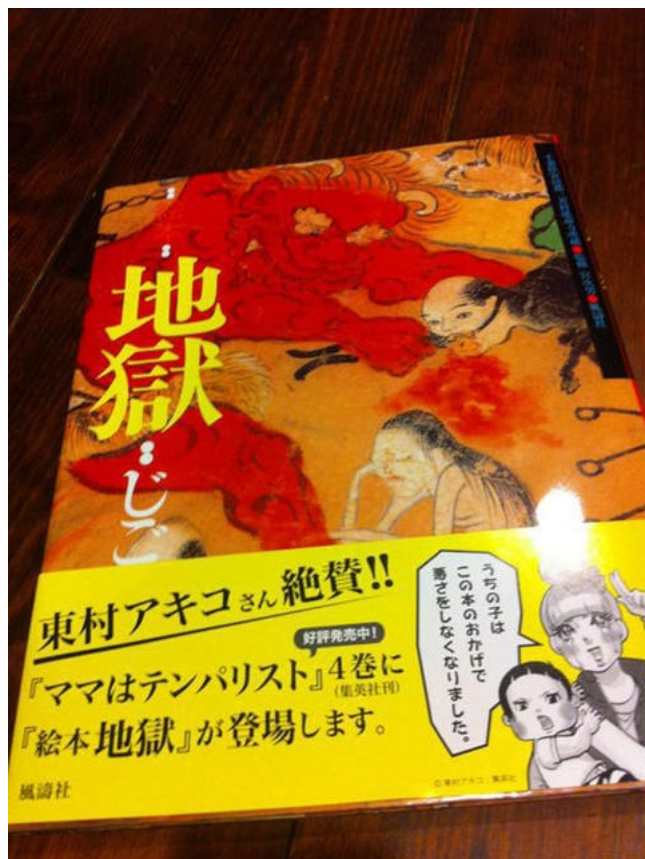
ウ 「うちの子は、この本のおかげで悪さをしなくなりました」

エ そのほか



■「子どものしつけに、これが効く!!」

帯には「うちの子は、この本のおかげで悪さをしなくなりました」と書かれています。「効果はてきめん。その日から息子がよい子に豹変しました。悪いことをしたら地獄に落とされると口で言うより、ビジュアルでイメージを植え付けたほうが効果的なんでしょう。それからは〈えんま様はどこからでも見ている〉と感じたのか、親の前だけではなく私がいなくても〈悪いことはできない〉と思ってるみたいです」と東村さんは語っています。



また次のページの写真のように書店では、「子どものしつけに、これが効く!!」と大キャンペーンを行った結果、絵本としては異例の売り上げとなり、ベストセラーとなったのです。

『ママはテンパリスト』を読んでみましょう。この絵本のおかげで、いか

に子どもに言うことを聞くようになったかがわかります。



最近の東村家の
しつけについて

実は
最近マツギちゃんも
ずいぶんお兄ちゃんに
なってきた
2年ほど経ってきた
鬼作戦が通用しな
くなってきたのです



でどうしようかなと
考えてて



私が子供の頃一番
怖かったものを思い出し
てんです

それはおばあちゃんちの
仏壇の下に隠ってた
……
子供向けの
「地獄と極楽」
という本!!



その本が
怖くて怖くて
針の山だの
火あぶりだのが詳しく
マンガで紹介されてるん
ですけど



当時 小学校低学年
だった私にはもう
完っ全にアワフワ!!

それ以来
常に

こんな悪いことしたら
地獄に落ちてしまう
かしれん!!

とばかりながら
生活しておったのです

でもあの本のおかげで
万引きも1回もしなかったし
カンニングもしなかったし
虫や小動物をいじめたりも
しなかった!!

よし
あれだ!!

あれ系の本を
ごっちゃんに見せれば
扱いやすいいい子に
なるかしれん!!



そして私は
「地獄と極楽」系の絵本を
探しはじめました



絶対!!
絶対に!!
地獄だけは
イヤ!!



教科書とあんなに
他の教科書でいじめる
悪手

【問題】

地獄の絵本が「しつけに効く」としてベストセラーになったことを、マスコミは概ねどのように報道したでしょうか。

予想

ア 肯定的

イ 否定的

ウ どちらともいえない



無間地獄

■マスコミ報道

各メディアはこの現象を肯定的に報道しました。

- ・ テレビ東京「シンボルず」

昔は「地獄」について色々教育されてたけど、最近はされてないから悲惨な事件が起きているのではないかな。

- ・ 朝日新聞

悪いことをしたら、えんま王が地獄に落とすぞ！思わず目を背けたくなる地獄の光景が生々しく描かれた絵本「地獄」が、なぜか人気だ。やんちゃな子たちをしつけるのにもってこいの劇薬？ えんま王もびっくりだ。

「怖くて眠られへん」と森龍斗君（9）。赤垣沙奈（しゃな）さん（10）は「うそとか悪口はもういわれへん」と涙目だ。

朗読会を開いたのは大阪市内の自営業、前田正治さん（70）。中学1年の孫に読ませると「真面目にせなあかん」と効果てきめん。「親や先生が見てなくてもえんま王が見ている。そんな心構えが今の子には必要だ」と思ったからだ。市内の学校や保育園に絵本を千冊配ろうと準備する。

「日本では古くから地獄の絵図を楽しむ習慣があった」と話すのは愛知教育大准教授で地獄絵の研究家、鷹巣純（たかす・じゅん）さん。鎌倉時代頃から路上や橋のたもとで地獄絵を使った見せ物が庶民の間で人気を呼んだ。「死んだ後どうなるのか。いつの時代も興味は尽きない」

核家族化で「死」を身近に感じにくくなる中、若い親世代にとって地獄の絵本は新鮮だったのでは、と鷹巣さんはみる。

一方でブームにくぎを刺す。「幼い子にとってはべらぼうな劇薬。地獄に落ちるぞと突き放すのではなく、いいことをするあなたをお母さんたちは見守っているよと伝えて。抱っこしたり頭をなでたり、コミュニケーションをとりながら読んでほしい」

- ・ 朝日新聞書評

これまで迷信として遠ざけられてきたものが、現代においては逆に新鮮に映る。子どもに死の怖さと生きることの喜び・楽しさを教え、他者への思いやりや命を尊ぶ心をつちかう、そんな「しつけ効果」があると人気を集めている。



『週刊 女性自身』

このほかにも、日本テレビ「スッキリ!!」「月曜から夜ふかし」,

TBS テレビ系列「みのもんたの朝ズバッ！」，TBS ラジオ「森本
毅郎・スタンバイ！」，フジテレビ系列「知りたがり！」「とくダ
ネ！」，NHK 松山「いよ X イチ」，読売新聞，産経新聞，東京新
聞，文化放送「大竹まこと ゴールデンラジオ！」，読売テレビ「朝
生ワイド す・またん！」，朝日放送「おはよう朝日です」，テレ
ビ東京「たけしのニッポンのミカタ！」，「週刊文春」などで好意
的に紹介されました。



【問題】

では、宗教団体は、どんな反応をしているのでしょうか。浄土宗のサイトには、この絵本の記事がありますが、それはどんな内容でしょうか。

予想

ア 肯定的

イ 否定的

ウ どちらともいえない

また「幸福の科学」では、どんな反応をしているのでしょうか。



東京国立博物館蔵 地獄草紙模本 阿毘至地獄（鉄車）部分

■反省

浄土宗のサイトでは、「昔の教材が見直されているんですよ。良い材料はすぐそばにあるんです。私たち僧侶は、子どもたちの心を豊かにする教材を、もっと提供していかなくてはと反省する今日この頃です」と書いてあり、「自分たちがそういう活動をしたかった」という趣旨のようです。

また「幸福の科学」関連サイトには、以下のようにありました。

天国、地獄があること、生前の思いが死後の行き先を決める、ということをお教えるのが宗教教育の根本だ。子供のうちからこのようなことを教えれば、いじめは減らせる。

昨年 10 月に起きた大津市のいじめ自殺事件でも、加害生徒らが「悪いことをしたら地獄に行く」ということを本気で受け止めていたならば、どこかで歯止めがかかっていたはずだ。

この絵本「地獄」ブームは、実は多くの人々が宗教的真理なしに善悪の価値判断はできない、と感じていることの現れだろう。今こそ、教育現場に宗教教育を取り入れるべき時だ。

「悪いことをしたら地獄へ行く」というのは「地獄がある」というのが前提の話ですから、これは宗教教育になるわけです。だから、宗教団体が歓迎するのもあたりまえのようです。

ここでも「信仰心があればいじめは減らせる」という主張がありますが、魔女裁判も宗教戦争も信仰が起こしたものです。宗教は、基本的に教条主義であり、不寛容だからです。

先の戦争でも、日本人がみな神がかり的になったことが悲劇の原因です。

【問題】

『絵本地獄』は，制作者の意図とは関係なく，「しつけに効果的」とベストセラーになりました。では，本当にしつけに効果があったのでしょうか。アマゾンの書評には，現在 45 のレビューが書かれています，どれぐらいのひとが「効果があった」と書いているのでしょうか。

予想

- ア 「効果あり」が圧倒的多数
- イ 「効果無し」が多数
- ウ なんともいえない



■アマゾンでの書評

◎効果あり

- ・ 2年生と4年生に読んでみましたが、普段の読み聞かせとは全く違う反応が見て取れました。どの子も、それぞれの立場で、深く考えていました。後日担任の先生から、「この本の読み聞かせ後、子ども達の行動が劇的に変わった。」と、お電話を頂きました。
- ・ 確かに少しだけいい子になった、9歳の長男と6歳の次男の二人とも真剣に読んでました。お勧めです。
- ・ さて、我が家のワンパク盛りの4歳の双子君。これによって普段の行動が明確に大きく変わったとは言えませんが、ちょっとした行動が変わりつつあります
- ・ 脅しだが効果抜群!!!、全人類がこの本を月に一回読むという習慣を続けたらどれくらい犯罪が減ることだろう？ 罰があるから犯罪をしないというのは思想として褒められたものではないが、それでも人様に迷惑かけるよりはマシだろう。
- ・ 悪い事をしたら地獄だよ！と言うと、地獄やだ！と言って言う事を聞いたりするので、効果はあったかな？と思います。
- ・ 子供たちの反応は「ぼく明日からもっとおりこうになる！！」と言っていました。年中の息子も「僕は地獄へ行きたくない。」と言い自分の事は自分で頑張っています。本を購入して1か月近く経ちますが、子供の心にはまだ地獄の本が刻まれているようです。
- ・ この絵本を購入して、再度悪いことはしてはいけないと子供達は思ったようです。でも、あまり、教育教育と思って期待して読ませることは疑問に思います。

- ・ 幼い頃、祖母や母に連れられ、良く地獄絵図を見せられました。本当に怖くて、「悪い事をやってはいけない」と心に刻んだものでした。
- ・ 私が小学生のころ父が買ってきてくれて読んだ覚えがあります。大人になった今でも「悪いことをすると地獄に落ちる。」この言葉を色々な場面で思い出すことがあり、この絵本の影響の強さを感じることがあります。
- ・ 小学一年生の娘も読んであげると真剣に聞いていて、子供心に「悪いことをすれば地獄へ行って償いをしなければならない」という事が分かったようです。
- ・ わが子もちょうど嘘つきになり手を焼いたところに購入して読ませました。遊びに来た友達にまで見せていました。友達も「私、もう他の子をいじめるのやめる」と言っていました。

◎効果に疑問

- ・ 普段から怖い本、妖怪、鬼などの本を読みあさっている娘（小3）にはさほど影響力はなかったようです。
- ・ 10歳男子、特に反応なし。8歳男子、神妙な顔つきで聞かされ、その後触りもせず。明らかにビビっていた。5歳女子、面白がって特に怖がらず。
- ・ うちの子にはまったく不適當でした。死ぬことのおそろしさだけがすりこまれたようです。地獄におちるから悪いことをしない、というのは、大人に見つかるからおこられるから悪いことをしない、というのとたいしてレベルが変わらず。
- ・ 私の子供は、娘で3歳、5歳だったのですが、文章の言葉が、少し意味わからなかったのか、ちゃんと言いつけを守るよう

に しつけるための『効果』はあまりありませんでした。

- ・ 先生に怒られることが多くなってきて、この本で効果がでるかもと期待し購入しました。小学校1年男の子です。読んだ時は怖がりながらも真剣に聞いており、読み終わったあとは涙目で「いい子になる」と言っていました。次の日になると今まで通り。「地獄に落ちてもいいの？」と言っても知らん顔。ほとんど効果はありませんでした。
- ・ しつけの意味でこの絵本を購入しました。7歳の息子はこの絵本を読んで、この絵本自体をかなり怖がっていましたが、3歳の娘は「読んで、読んで」の繰り返しで、怖がるというよりも興味津津でした。
- ・ 6歳のころに学童にこの絵本があり、読みました。そんな私にこの本は怖すぎました。表紙を見ただけで泣きだしたり、しまいには学童から逃げ出したりしたそうです。
- ・ 私は、5歳の頃にこの絵本に出会って、絵本に出てくる「血」の狂気を含んだ妖艶さ、美しさ、恐怖に心囚われました。「血」の色に似ている「赤」に恐怖を抱くと共に、崇高なものを感じるようになりました。この絵本の影響で、今でも「赤」が生理的に怖く、血が流れると光悦した感覚に陥ります。

このように「効果絶大」というわけではないようです。また、次のような興味深い意見もありました。

- ・ 子どもに言うことを聞かせ、コントロールするための手段として読ませる—そんな邪心をもってしては、それこそ地獄に堕ちる、バチが当たるように思うのです。

- ・ 個人的に霊体験をしている立場から言って、地獄は確実に存在します。死後、魂の反省の場所として地獄が存在するのは紛れもない事実である、ということを断言しておきます。

【質問】

「悪いことをすると地獄に行くぞ」というのは「脅し教育」です。あなたは、このような教育についてどう思いますか。脅し教育はいけないのでしょうか。脅しの中身が事実のときはどうでしょうか。



■「天国は無い」

教育学の歴史を研究している豊田泰弘さんは、次のように語ってくれました。

教育現場では様々な形で脅かしが行われています。過去の全ての教育学が結局解決できなかった〈学習の動機づけとその持続〉という課題の解決法として、ヘルバルトの、児童生徒に対する監視、威嚇、処罰を柱とする徹底的な管理理論が現在も教育界を支配しているわけです。

授業を受け側に立って、〈こんなことを、こんな方法で学ぶなら、もっともっと学びたい〉と思える「たのしい授業」を提唱する仮説実験授業の主張が革命的である点は、ここにあるのです。

現実の教育現場では、子ども達は常に脅されています。「そんなんじゃ、進級できない」「就職できなくなるぞ」「そんなんじゃ、社会に通用しないぞ」

脅ししか教育の手段が無いと言うことは、とても寂しいことです。でも、教育の主役が子ども達にあるのならば、脅し教育は、そもそも教育たり得ません。

しかも、その脅しの内容は事実なのでしょうか。「社会に通用しないぞ」と脅されている定時制の生徒は、すでに社会で働いているのです。通用しないのは、脅している教師の方なのです。子ども達が「学ぶに値する」と思えないような勉強をさせて、「やらないと進級させない」と脅しているのが教師です。

ジョン・レノンが「イマジン」で歌っているように「天国は無い」のです。同様に地獄も存在しません。その、実際には存在しない地獄で脅し教育をやるというのは、二重に間違っています。

それはまるで、「裸の王様」を指して「立派な服を着ているでしょ」と教え込んでいるようなものです。

「天国なんてどこにもない無い」と考えてごらん
やってみれば意外と簡単だから
そうだとすれば
「地獄だってどこにも無い」と考えられるね
そう 私たちの上には、ただ空があるだけ
その空の下で
「すべての人々が毎日を生きている」と考えられるね

「国家なんか無い」と考えてみよう
難しいことじゃない
そうしたら
国の為に人を殺したり、自分が死ぬことも無い
そして同様に「宗教なんか無い」と考えてみよう
そうだとすれば
「誰もが平和に生きている世界」が考えられるね

きっと、君はボクの言うことを信じていないね
でも、こう考えているのは、ボクひとりじゃないはず
いつか、君もボクたちと同じように
考えてくれるようになることを
そして、世界がひとつになることをボクは願っている

“Imagine” by John Lennon translated by maru



「嘘をついたら閻魔王に舌を抜かれる」そうです。では「地獄に行くぞ」とデマ宣伝している人たちも舌を抜かれるのでしょうか。

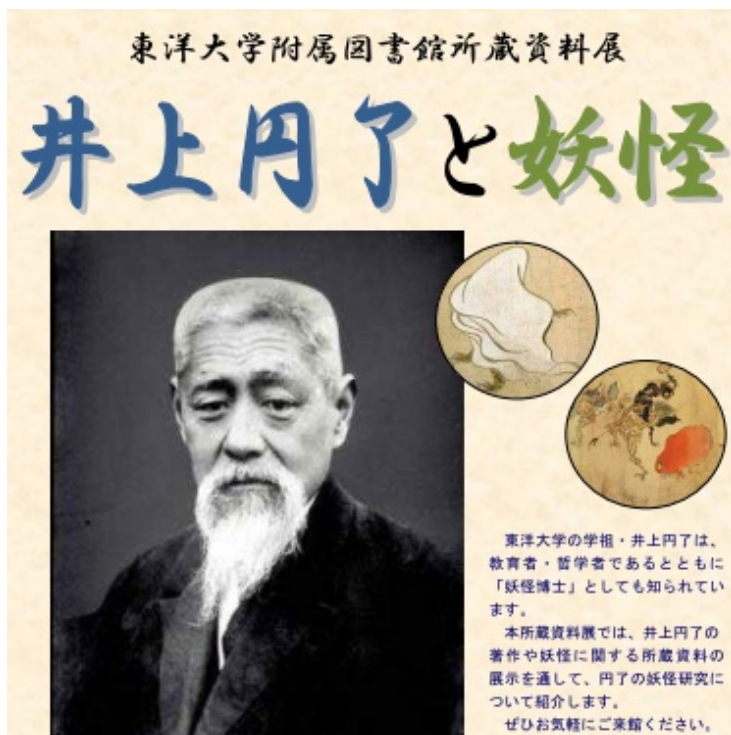
【研究問題】

明治、井上円了は廃仏毀釈やキリスト教の公認で、危機的状況にあった仏教を復興させるべく、妖怪や迷信の排除に乗り出しました。

では、彼は地獄についてはどんな考えを持っていたのでしょうか。

予想

- ア 「地獄も迷信だ」
- イ 「地獄はあるが、その中身は例えに過ぎない」
- ウ 「地獄は言われているとおりに存在する」
- エ そのほか



■信仰上の問題

彼が迷信などを排除しようとしたのは、仏教の為だけで無く、日本全体の近代化の為でした。彼は『靈魂不滅論』で地獄について、次のように語っています。

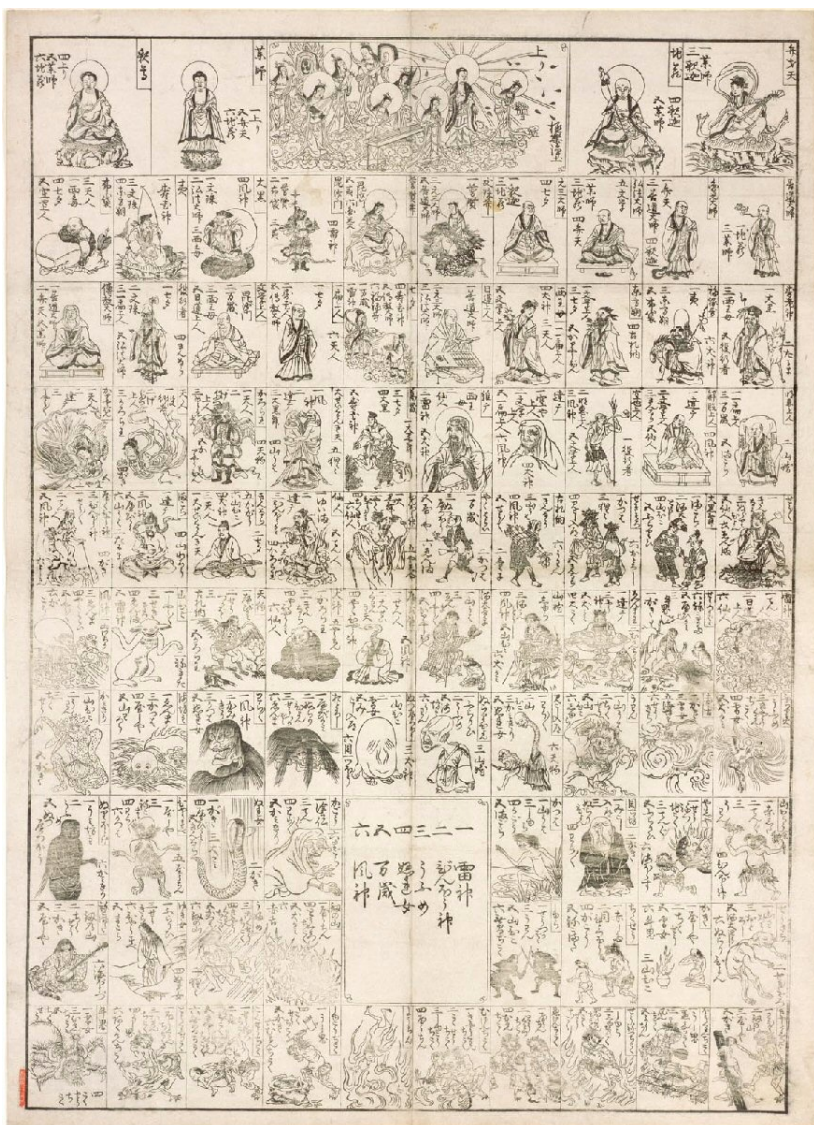
「進化は因果応報であり、最上の結果と最悪を考えれば、極楽と地獄もあると考えるのも不合理とは言えない。ただ、地獄の鬼や釜の話、極楽の蓮華や音楽の話は、道理以外のことであり、宗教の外からこれを見れば、たんに苦楽の状態を形容しているに過ぎないことになる。これは信仰上の問題である」

つまり、「因果応報の考えで行けば、最良の状態と最悪の状態があることになる。それらを極楽や地獄と言うのも問題はない。しかし、地獄での具体的な刑罰の話などは、第三者から見れば、苦痛の程度を表現しているに過ぎず、そういった刑罰が実際にあると信じるのは、信仰の問題でしかない」というのです。

■オマケ

絵双六の魁として「浄土双六」というスゴロクが昔あったそうです。江戸時代に流行し、天皇まで夢中になって遊んだそうです。この双六は、「人生ゲーム」みたいなものですが、「ゴール」は極楽となっています。その間には、輪廻転生することでゲームは進みます。賽(さい)には「南・無・分・身・諸・仏」の6字が刻まれていたとのこと。ただ、一旦地獄に落ちると、めったなことではあがれないそうです。ぜひ遊んでみたいものです。

東本願寺では、毎年正月に「浄土双六大会」を開催しています。



昔の浄土双六

■地獄で会いましょう

地獄の研究を始めてからというもの、地獄関係の本や DVD を買い集めて、家族から大変気味悪がられています。しかし、ボク自身は、地獄には全くなんの関心もなく、少しも恐ろしいと思っていません。同様に、極楽や天国にも興味が無いなあ・・・。

「賞味期限切れ」の地獄で、脅し教育が有効となるとも思えません。いやそれ以前に、脅し教育には反対です。

今回、自分でもエライと思ったのは、各宗教の地獄について、もっと詳しく書けたのに、そうしなかったこと。天国についての話題もオモシロイのですが、一切触れませんでした。マニアになってはいけないからなあ。

今回も、文献によって書いていることが違うことが多く、大いにたのしめました。また地獄の構造図は、どの本の図版も「大きさの関係」がいい加減だった為、書き直しました。

久しぶりに、レポートを書くと、とにかく腹が減るのにはびっくり。お菓子を食べまくりながら、書き上げました。

学校の管理体制が厳しくなる一方で、唯々諾々とそれに従う人たち。そして、そのしわ寄せは、間違いなく生徒たちがかぶることになります。まさに、ここは「地獄」ではないですか。

ボクの夏休み前全校集会での挨拶は「学校否定」でした。

「夏休みはなんのためにあるのでしょうか。学校で辛い思いをさせられて笑顔を失ってしまったひとがいるでしょう。しばらく学校から離れることで、自分を、笑顔を取り戻してください」

もちろん、「笑顔を失った人」とは、ボクのことです。笑

生きるも地獄ですから、死んでから地獄だとしても、何を恐れ

る必要があるでしょうか。もっとも地獄はないし・・・。

生きているうちに言いたいことを言い、生きられるところまで生き、あとは野垂れ死にでいいなあ。

では、みなさん、地獄でお会いしましょう！

地獄はないんだけど・・・

Hasta la vista, baby! （地獄で会おうぜ、ベイビー）



■ 典拠文献

- ・ 井上円了『通俗講義 靈魂不滅論』南江堂 明治 32 年，復刻 1983 国書刊行会
- ・ 中村元ほか『国宝 地獄草紙 解説』大修館 1973
和綴じの本。なかなかおもしろかった。
- ・ 西郷信綱ほか『地獄と人間』朝日新聞社 1976
日本人と地獄観について詳しい。
- ・ 田島征彦『じごくのそうべえ』絵本，童心社，1978
- ・ 宮次男監修『絵本 地獄』風濤社 1980
- ・ 中村元『往生要集』岩波書店，1983
『往生要集』についてよくわかる。
- ・ 板倉聖宣『かわりだねの科学者たち』仮説社，1987
- ・ アリス・K・ターナー 『地獄の歴史』法政大学出版局，1995
キリスト教における地獄について大変詳しい。
- ・ 草野巧『地獄』新紀元社，1995
地獄についての百科事典で便利。
- ・ 石上善応『往生要集』NHK 出版 1998
- ・ 草野巧『図解 天国と地獄』新紀元社，2007
わかりやすい。
- ・ 地獄研究会『図説 地獄』イーストプレス，2010
地獄のガイドブック的な本でたのしめる。
- ・ 東村アキコ『ママはテンパリスト』第 4 巻，集英社，2011
マンガとしてとてもたのしい。
- ・ 『地獄ものがたり』タウンムック，徳間書店，2012
江戸末期のたのしそうな地獄の絵が紹介されている。

- ・ 『世界大百科事典』 平凡社
- ・ 『日本大百科全書』 小学館
- ・ Wikipedia
- ・ アマゾン
- ・ 愛知教育大学 美術教育講座 鷹巣純准教授サイト
- ・ 浄土宗, 浄土真宗サイト
- ・ 各ニュースメディアのサイト
- ・ 風濤社サイト

■参考文献

- ・ 木谷恭介『地獄大図鑑』, 立風書房 , 1985
- ・ 宮次男監修『地獄と極楽』 風濤社, 2011
『絵本地獄』と『絵本極楽』をまとめて文庫版にしたもの。「あ
とがき」などがないので, おすすめしない。
- ・ 『死後の世界を巡る! 地獄冥界巡礼』 学研, 2012 ムー探 Q
コミック。 マンガで各宗教の地獄を描いてある。
- ・ 豊田泰弘「新教育科学入門」レポート, 2012
- ・ DVD 石井輝男監督『地獄』 角川映画 1999
トンデモ映画であり馬鹿馬鹿しいが, たのしめる。
- ・ DVD 神代辰巳監督 『地獄』 東映, 1979
地獄のシーンは丁寧。